

# 美術 振 興

## 1 大分市美術館

所在地 大分市大字上野 865 番地  
電話 554-5800  
FAX 554-5811



### (1) 運営方針

大分市美術館は、緑豊かな上野丘子どものもり公園内に位置し、「たのしんで・みて・まなぶ美術館」として、だれもが気軽に美術を楽しめる場と機会を提供している。

年間を通じて所蔵の美術品が鑑賞できるコレクション展（常設展）やさまざまな分野の優れた美術を紹介する特別展の開催、各種講座・講演会の開催など、子どもから大人まで幅広く楽しめる生涯学習施設としての美術館運営をめざしている。

また、特色ある地域の美術文化情報を広く発信するとともに、開かれた美術館として市民との協働による運営を推進している。

### (2) 施設の概要

平成 11 年 2 月	開館
敷地面積	129,837㎡（公園全体）
建築面積	6,623.51㎡
延床面積	9,085.00㎡
展示室面積	2,097.81㎡
構 造	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨 鉄筋コンクリート造 2 階建

### (3) 収集方針

- ① 豊後南画をはじめ、大分市にゆかりのある作家の優れた作品
- ② 美術史的展望に立ち、近・現代を中心とした芸術的に価値のある内外の作品
- ③ 将来方向として重視される環太平洋地域の美術についての作品
- ④ 歴史的文化遺産として貴重な美術資料

### (4) 利用案内

開館時間 午前 10 時～午後 6 時  
(入館は午後 5 時 30 分まで)

休 館 日 月曜日  
(月曜日が祝日の場合はその翌日)  
※第 1 月曜日は開館し、翌日の火曜日が休館（ただし、特別展会期中の火曜日は開館する）  
年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）

観 覧 料 コレクション展（常設展）  
一 般 310 円（団体 260 円）  
高・大学生 210 円（団体 150 円）  
小・中学生 無料  
障がい者（身体障害者手帳等提示）  
全額減免  
※団体は 20 名以上

#### 特別展

その都度決定（特別展の観覧料で常設展も鑑賞できる）

研 修 室 使用料 1 時間 1,100 円

※冷暖房期間中は 4 割増しとする。

#### ■交通機関

バ ス 「JR 大分駅上野の森口（南口）」  
乗り場から大分キャンバス「大分市美術館」行き約 9 分。

タ ク シ ー JR 大分駅上野の森口（南口）から約 5 分。

車 東九州自動車道／大分 IC から約 10 分。



「遊星散歩（安藤 泉作）」

(5) 利用状況（令和4年度）

① 観覧者

総観覧者

区 分	常設展	特別展	計
一 般	21,776 人	41,052 人	62,828 人
高・大生	1,332 人	2,595 人	3,927 人
小・中生	13,662 人	15,333 人	28,995 人
計	36,770 人	58,980 人	95,750 人

特別展観覧者

展覧会名	期 間	観覧者
宮廷画家ルドゥーテと バラの物語	令和4年 4月15日 ～5月29日	9,574 人
みちの歩き方 - 路上の観察者たち	6月3日 ～7月3日	2,833 人
アート・ワンダーラン ド 2022 怖い-こわい美術館-	7月14日 ～9月19日	21,392 人
福田平八郎と大分の日 本画家たち - 首藤雨郊・高倉観崖・ 牧皎堂	9月30日 ～11月20日	7,309 人
第 61 回「福田平八郎賞」 第 54 回「朝倉文夫賞」 大分市小・中、特別支 援学校図画・彫塑展	12月1日 ～12月11日	5,471 人
第 71 回高文連 書道・写真 中央展	12月15日 ～12月18日	1,400 人
第 74 回大分県立芸術緑 丘高等学校美術制作展	12月20日 ～12月25日	1,781 人
BEAUTY- 培広庵コレ クション×池永康晟	令和5年 1月7日 ～2月19日	4,930 人
第 57 回大分市美術展	3月3日 ～3月25日	4,290 人
計	260日	58,980 人

② 研修室

利用件数	利用者数
185 件	3,445 人

(6) チャイルドハウス



上野丘子どものもり公園内、市美術館と隣接する場所にあり、誰でも無料で自然や芸術に触れながら絵画・工作などの体験学習ができる施設である。

- ① 施設概要 延床面積 302.27㎡  
体験学習室 2室
- ② 開館時間 午前10時～午後6時
- ③ 休館日 月曜日（祝日の場合は開館し翌日が休館）  
年末年始  
（12月28日～1月4日）
- ④ 貸 出 1室のみ貸出可。使用料1時間  
220円  
※冷暖房期間中は4割増しとする。
- ⑤ 利用者数（令和4年度） 7,028人

## 2 令和5年度 主要な事業

大分市美術館では、幅広い世代が大分ゆかりの美術はもとより、国内外のさまざまな分野の美術を鑑賞できる機会や、創作活動に気軽に参加し作品が発表できる機会の拡大を図っている。

### (1) 展覧会事業

#### ① 特別展

展覧会名	会期・開館日数	内 容
堀内誠一 絵の世界	4月21日(金) ～6月25日(日) 59日間	堀内誠一(1932～87)は、デザイナーとして研鑽を積み、時代をリードするアートディレクターとして活躍。本展では、代表作である「ぐるんぱのようちえん」など絵本の原画から「anan」などの雑誌デザインの仕事などにより、堀内芸術の全貌を紹介。
ドイツ・ミュンヘン MUCA 展 ICONS of Urban Art ～バンクシー からカウズまで～	7月22日(土) ～10月9日(月) 76日間	バンクシーやカウズなどのアーティストをはじめ、過去40年間で地位を確立し、今日では日本でも注目を集めているアーバン・アート。この伝説的なアーティストたちのアイコン的な作品を通じて、彼らの軌跡を辿り、人気の秘密を探り、その謎に迫る。
第62回「福田平八郎賞」 第55回「朝倉文夫賞」 大分市小・中、特別支援 学校図画・彫塑展	11月30日(木) ～12月10日(日) 11日間	郷土出身の日本画家福田平八郎、彫刻家朝倉文夫を顕彰した展覧会。市内小・中、特別支援学校の児童・生徒の作品を紹介。
第72回大分県高等学校 文化連盟 書道中央展	12月14日(木) ～12月17日(日) 4日間	大分県内高等学校(公立・私立)で学ぶ生徒たちが制作した作品(書道)を紹介する展覧会。
第75回大分県立 芸術緑丘高等学校 美術制作展	12月19日(火) ～12月24日(日) 6日間	県内で唯一の美術専門コースである大分県立芸術緑丘高等学校美術科で学ぶ生徒が制作した作品を紹介する展覧会。
須田国太郎の芸術 -三つのまなざし- 生誕130年 没後60年を越えて	令和6年 1月5日(金) ～2月18日(日) 40日間	須田国太郎(1891-1961)は、1934年、独立美術協会会員、1947年芸術院会員、25年京都市立美大教授。独特の明暗法で思想性ゆたかな画境を開拓した。本展は、碧南市藤井達吉現代美術館ほか4館の共同企画で、新たな切り口で、須田芸術を紹介。
第58回大分市美術展	3月1日(金) ～3月23日(土) 21日間	日本画、洋画・版画、彫刻、工芸、デザイン、書、写真の7部門の作品を公募して紹介する展覧会。



堀内誠一 絵の世界



ドイツ・ミュンヘン MUCA 展  
ICONS of Urban Art  
～バンクシーからカウズまで～

② コレクション展（常設展）

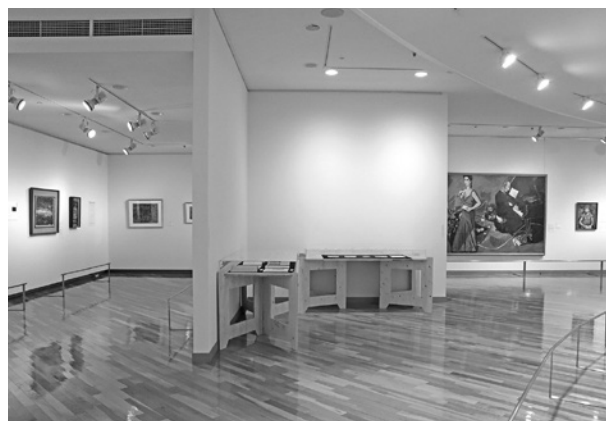
展示室1～4では、コレクションを中心とした企画により、年間4回（展示室2は6回）の展示を行う。なお、第2回は「アート・ワンダーランド2023 まるまるアニマル」を開催する。

展示室1 福田平八郎や高山辰雄など、近代・現代の日本画を中心に紹介する。

展示室2 近世の絵画や田能村竹田、帆足杏雨などの豊後南画等を紹介する。

展示室3 佐藤敬など、近代・現代の洋画等を紹介する。

展示室4 生野祥雲斎の竹工芸作品を中心に紹介する。



展示室3

会 期	展示室1	展示室2	展示室3	展示室4
4月19日(水) ～7月9日(日)	山水画と風景画	没後130年 平野五岳Part2 ～5月21日(日) ----- 5月23日(火)～ 仙客万来！ ユニークな仙人たち	佐藤敬とフランス	
7月12日(水) ～9月18日(月)	[サマー企画] アート・ワンダーランド2023 まるまるアニマル			
9月21日(木) ～12月24日(日)	人とものがたり	はるかなる山水 憧れの中国 ～11月12日(日) ----- 11月14日(火)～ 文豪×豊後南画	追悼 磯崎新 ポスト・モダンの時代	
12月27日(水) ～令和6年 4月14日(日)	冬から春へ	美人画の魅力 ～2月18日(日) ----- 2月20日(火)～ 絵画の中のユートピア	前衛芸術の道	工芸作品の “ソトガワ”

(2) 各種講座・講演会

① 子どものための講座

	講 座 名	期日・期間	定 員	内 容
1	春の美術教室	4月29日(土)	15人×1回	鑑賞付ワークショップ
2	夏の美術教室	6月 3日(土)	15人×1回	鑑賞付ワークショップ
3	夏の子ども講座 10回	6月24日(土)、25日(日)	30人×1回 ×2日	ワークショップ
4		7月 1日(土)、2日(日)	30人×1回 ×2日	ワークショップ
5		7月28日(金)、29日(土)	30人×1回 ×2日	ワークショップ
6		8月 4日(金)、5日(土)	30人×1回 ×2日	ワークショップ
7		8月18日(金)、19日(土)	30人×1回 ×2日	ワークショップ
8	秋の美術教室	10月20日(金)、21日(土)	10:00~12:00 14:00~16:00 時間内であれば参加可	ワークショップ
9	冬の美術教室	1月20日(土)	30人×1回	ワークショップ

② 市民との協働講座等

	講 座 名	期日・期間	定 員	内 容
10	アートカレッジ	6/1、7/6、10/5、12/7、1/11、 2/1 全て(木)	30人×6回	美術に関する講義と展覧会解説
11	美術館ボランティア研修講座	年4回	40人×6回	美術館で活動しているボランティアの研修
12	美術館で音楽会	10/21、11/4、11/11、11/18 全て(土)	80人×2回 ×4日	応募者による演奏会

③ 連携事業

	講 座 名	期日・期間	定 員	内 容
13	美術館出前教室	通年	—	学校へのアウトリーチ鑑賞教室
14	職場体験	通年	—	中学生の美術館施設見学と仕事体験
15	博物館実習・インターンシップ	8月～9月	—	大学より実習生を受け入れ
16	中学生芸術講座	8月	—	県中学校文化連盟からの依頼による講座等
17	教職員研修	通年	—	図工・美術教員との美術館を活用した研修、放課後講座、福田・朝倉展等
18	小教研・中教研	通年	—	対話型鑑賞、実技研修、研究授業
19	体験プログラム	通年	—	美術館で「鑑賞」と「制作」体験(学校との連携)
20	美術館めぐりクイズラリー	年2回	—	県立美術館と市美術館との連携

④ その他

	講 座 名	期日・期間	定 員	内 容
21	「第1月曜日は美術館で楽しもう！」	4月～3月の第1月曜日 (1月を除く)	—	ボランティアによるワークショップ
22	ちびっこ工作ルーム 「てとてとて」	10月～3月の第1金曜日	—	未就学児童と保護者対象の工作教室
23	出張講演	随時	—	外部の市民団体等からの依頼による講演

(3) 第58回大分市美術展

美術の各分野における市民の創作活動を促進し、発表と鑑賞の機会を提供することによって、多様で豊かな文化を創造する市民の育成をめざす。

会期 令和6年3月1日(金)  
～3月23日(土)

場所 大分市美術館  
昨年度(令和4年度)実績

会期 令和5年3月3日(金)  
～3月25日(土)

場所 大分市美術館  
出品数 442点(招待出品1点を含む)

(4) 福田展・朝倉展

郷土出身の画家故福田平八郎先生、彫刻家故朝倉文夫先生の御遺志を長く本市教育に生かすために「福田平八郎賞」、「朝倉文夫賞」基金条例を制定し、昭和37年度から図画展、昭和44年度から彫塑展を開いて、市内小中児童生徒の図工・美術教育の振興を図っている。

① 福田展の記録

昭和37年5月1日～6日

トキハ文化ホールにおいて福田平八郎画伯近作展が開かれる。

昭和38年2月6日～10日

市条例により「福田平八郎賞」大分市小・中学校図画展がはじまる。

回	期間	会場	応募作品数	入選数	入賞点数
57	平 30.11.27 ～12.3	アートプラザ	39,902	3,586	454
58	令元 .12.4 ～12.8	大分市美術館	39,819	3,577	455
59	令 2.12.4 ～12.13	大分市美術館	40,033	2,560	454
60	令 3.12.3 ～12.12	大分市美術館	39,850	2,540	452
61	令 4.12.1 ～12.11	大分市美術館	39,794	2,522	446

② 朝倉展の記録

昭和42年10月6日～19日

大分文化会館において朝倉文夫遺作展が開かれる。

昭和44年11月6日～10日

市条例により「朝倉文夫賞」大分市小・中学校彫塑展がはじまる。

回	期間	会場	入選数
50	平 30.11.27 ～12.3	アートプラザ	326
51	令元 .12.4 ～12.8	大分市美術館	326
52	令 2.12.4 ～12.13	大分市美術館	332
53	令 3.12.3 ～12.12	大分市美術館	328
54	令 4.12.1 ～12.11	大分市美術館	326



市美展会場の様子

(5) 美術館ボランティア

美術館ボランティアは、大分市美術館の教育普及活動の諸事業に関わりながら個々の芸術・美術に関する教養を高めると共に、市民文化の発展に寄与することを目的とする。

① 活動

美術関係資料の収集整理、所蔵作品の解説、ワークショップの実施、その他展覧会諸事業への協力など。



ワークショップを行うボランティア

② 研修

大分市美術館美術振興課職員による所蔵作品関連の研修、展覧会レクチャーなど。

(6) 調査研究

① 美術作品等の調査研究

大分ゆかりの作家、日本及び諸外国の近現代芸術、歴史的文化遺産など大分市美術館の収集方針に沿った美術作品及び関連する美術作品、資料等の調査、研究を行う。

② 展示、保存に関する調査研究

特別展、コレクション展（常設展）でより効果的に展示する技術、方法や所蔵作品のより安全な保管技術、方法について調査、研究を行う。

③ 教育普及活動に関する調査研究

3 アートプラザ

所在地 大分市荷揚町3番31号

電話 538-5000

FAX 538-5060



(1) 運営方針

ゆとりと豊かさあふれる生涯学習社会をめざし、新しい文化の創造と発信が積極的に行われる場として、気軽に利用できるよう市民サービスにつとめる。

また、大分市出身の世界的建築家磯崎新氏建築作品の模型や資料の展示を行い、建築理念や思想などを広く紹介する。

(2) 施設の概要

① 沿革

昭和41年(1966)5月	大分県立大分図書館(磯崎新氏設計)として竣工
昭和42年(1967)5月	日本建築学会賞受賞
昭和43年(1968)4月	日本建築年鑑賞受賞
平成6年(1994)8月	大分県立大分図書館新築移転のため閉館
平成7年(1995)4月	大分市が無償貸与を受ける
平成10年(1998)2月	アートプラザ開館
平成19年(2007)4月	指定管理者制度を導入
令和4年(2022)10月	登録有形文化財に登録

② 概要

敷地面積	3,023.4㎡
建築面積	1,599.94㎡
延床面積	4,081.55㎡
構造	鉄筋コンクリート造地下1階 地上3階

(3) 指定管理者制度の導入

- ① 目的  
民間事業者の有するノウハウを活用することで、市民サービスの向上と行政コストの削減、及び新たな雇用の創出による地域の振興を図る。
- ② 指定管理者  
アートプラザ共同事業体
- ③ 指定期間  
平成31年4月1日～令和6年3月31日

(4) 事業内容

本館の業務は、貸館業務と常設展示業務に分けられる。

- ① 貸館業務
  - ア 施設の用途
    - (ア) アートホール (2F)  
文化・芸術関係団体の展覧会場として、また、各種文化講演会や催事の会場として利用できる。
    - (イ) ギャラリーA・B (1F)  
主として個人やグループによる絵画・書・写真などの創作活動の発表の場として利用できる。
    - (ウ) 研修室 (2F)  
芸術・文化に関する会議や研修会や講座などに利用できる。
    - (エ) 実技室 (2F)  
比較的大きなプレス機を設置して各種版画ができるように準備している。その他多様な芸術活動にも対応できる。

イ 施設紹介

	面積	展示壁面	天井高	収容人員
アートホール	427㎡	116 m	5.14 m	250 人
ギャラリー A	236㎡	78 m	2.85 m	/
ギャラリー B	102㎡	46 m	2.85 m	
研修室	79㎡	/	4.66 m	70 人
実技室	77㎡		4.66 m	20 人

- ・ギャラリーA・Bを同時使用することもできる。
- ・実技室には1.8 m × 0.9 mの作業台が6台あり、水道も設置している。

② 常設展示業務

- ア 磯崎新建築模型展示業務 (3F及び2F 60'sホール)  
磯崎新氏が設計した建築物の精密な模型や資料などを、随時展示替えを行いながら常設展示する。
- イ 現代美術作品常設展示業務 (2F 60'sホール)  
1960年代前半に活動した前衛芸術家グループ「ネオ・ダダ」を中心とする現代美術の所蔵作品を、随時展示替えを行いながら常設展示する。
- ウ 施設紹介及び展示内容

(ア) 磯崎新建築展示室・60'sホール

展示室は、面積12㎡から111㎡の9つの部屋に分かれており、主要建築模型は60'sホールの一部も使用し展示している。



磯崎新建築展示室



60'sホール



(5) 利用案内

① 開館時間

午前9時から午後10時まで（ただし3階磯崎新建築展示室は午後6時まで）

② 開館日

年末年始（12月28日～1月3日）を除く  
全日

③ 利用料

	4月・5月・10月・11月料金	冷 暖 房 期 間 中 料 金
アートホール(427㎡)	1日(9時～22時) 9,950円	13,930円
	1時間 1,200円	1,680円
研修室 (79㎡)	1時間 720円	1,000円
実技室 (77㎡)	1時間 220円	300円
市民ギャラリー(338㎡)	1日(9時～22時) 7,850円	10,900円
A室(236㎡)	1日(9時～22時) 5,500円	7,700円
B室(102㎡)	1日(9時～22時) 2,350円	3,290円

磯崎 新 建築展示室	観 覧 無 料
---------------	---------

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

 の部分は冷暖房期間です。

④ 受付方法

- ・使用日の属する月6ヶ月前から、受付を行う。  
ただし、芸術・文化活動以外の会議や研修などは3ヶ月前から受付を行う。  
また、5日以上連続して行う展覧会については、12ヶ月前から受付を行う。
- ・受付、空き情報の問い合わせは、年末年始の休館日を除く日の午前9時から午後6時まで。
- ・電話等による仮押さえは不可。
- ・使用料は、使用許可の際に納入。

(6) 利用状況

(令和4年度)

項 目	市民ギャ ラリーA	市民ギャ ラリーB	ア ー ト ホ ー ル	実技室	研修室
利用日数	248	244	209	234	241
利用率(%)	70	69	59	66	68

(7) 新たな知の拠点整備事業

「アートプラザのあり方及び周辺エリア整備基本構想」(令和3年3月策定、以下「基本構想」)におけるアートプラザのあり方の方向性である『新たな知の拠点の創出』の実現のため、令和5年2月に「新たな知の拠点整備概要」(以下「整備概要」)を策定した。今後は、以下の「基本構想」の整備方針、「整備概要」の3つの柱に沿って施設整備を検討していく。

【基本構想における整備方針】

- 荷揚町小学校跡地複合公共施設に市民ギャラリー機能を移設する等の利便性の高い機能的連携を図ります。
- 磯崎新氏関係資料等を公開・閲覧できる場の拡充を検討します。
- 建築や芸術などに興味・関心を持つ次世代の担い手を育むとともに、幅広い世代の市民や研究者等が集い、学ぶ場の提供を検討します。
- デジタルアーカイブを構築・公開し、資料の活用を促進します。
- 若手芸術家・建築家等への創作・研究発表の場の提供を検討します。
- 施設の適切な維持管理を図ります。
- 施設の名称を検討します。

【整備概要の3つの柱】

- 磯崎新氏関係資料等の収集・調査・研究・公開の場
- 幅広い世代の市民や研究者等が集う学びと交流の場
- 建築や芸術などに興味・関心を持つ次世代の担い手を育む場